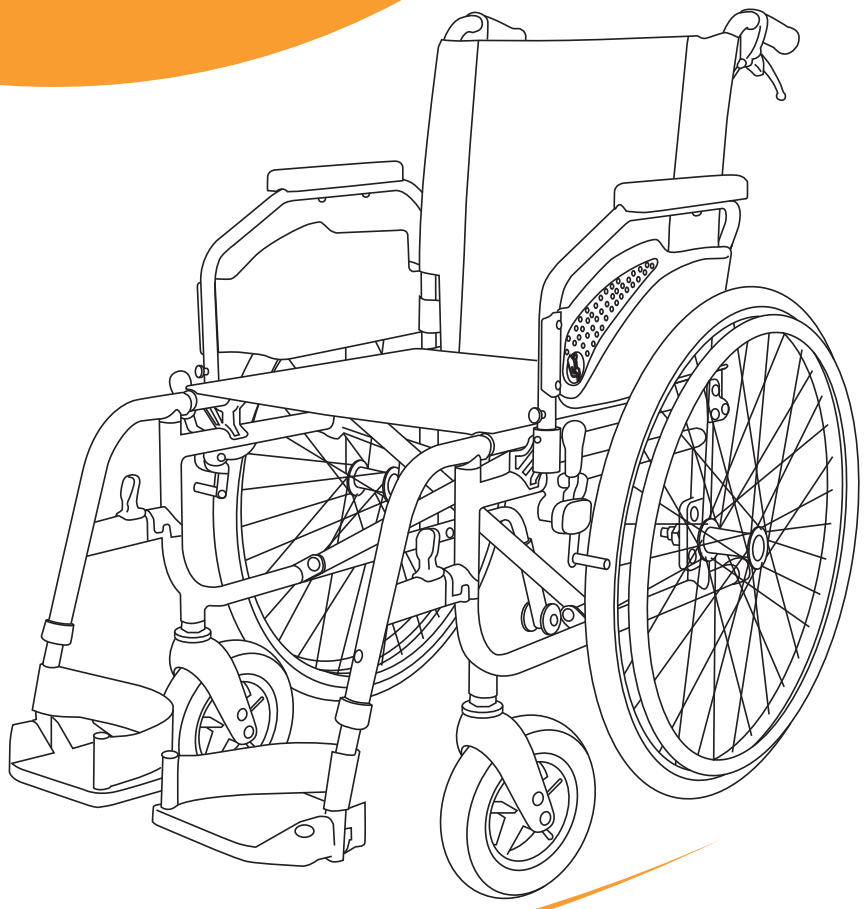
エクシーゴ

EXIGO10

取扱説明書



もくじ

はじめに ……P2
各部の名称 ……P3
製品仕様 ……P4
各部の点検方法 ……P5
ご使用上の注意 ……P6～11
組み立て方・折りたたみ方 ……P12
後輪の付け方・はずし方 ……P13
アームレストの跳ねあげ方 ……P13
レッグサポートの使用方法 ……P14
手元ブレーキの使用方法 ……P14
介助ブレーキの使用方法 ……P15
転倒防止器(オプション）の使用方法……P15
座面後部高さの調節方法 ……P16
前輪キャスタ高さの調節方法 ……P16
アームレスト高さの調節方法 ……P16
手元ブレーキ位置の調節方法 ……P17
フットプレート高さの調節方法 ……P17
背もたれの調節方法 ……P17
安全ベルト(オプション）の取り付け方 ……P18
車いすの操作方法 ……P19～20
福祉車両での使用方法 ……P21～22
お手入れ・保管方法 ……P23
修理サービスについて ……P23

CE

handicare

はじめに

このたびは EXIGO10（エクシーゴ） をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読み下さい。また、ご使用いただく際にはかならず携帯していただくか、いつでも確認できるところに保管してください。取扱説明書の内容やイラストは、仕様変更などにより一部実車と異なる場合があります。

EXIGO10（エクシーゴ）について

EXIGO10（エクシーゴ）は、市場のニーズに沿って開発されました。
車いすからの移乗に必要な箇所は全て着脱可能な設計で、高い剛性を持ちながらも座幅＋21.5㎝という全幅なので、幅のせまいドアなどでもご使用いただくことができます。
折りたたみ時の幅も30㎝とコンパクトなので、乗用車のトランク等にも楽に入ります。

EXIGO10（エクシーゴ）は屋内外兼用です

ご使用者自身で自走および手元ブレーキの操作が可能であっても、ご使用の際の住宅環境や交通環境などにより、介助者のサポートが必要な場合もあります。ご使用に際しては安全のため、かならずご家族または介助者の付き添いのもとにご使用ください。

車いすの各部調整について

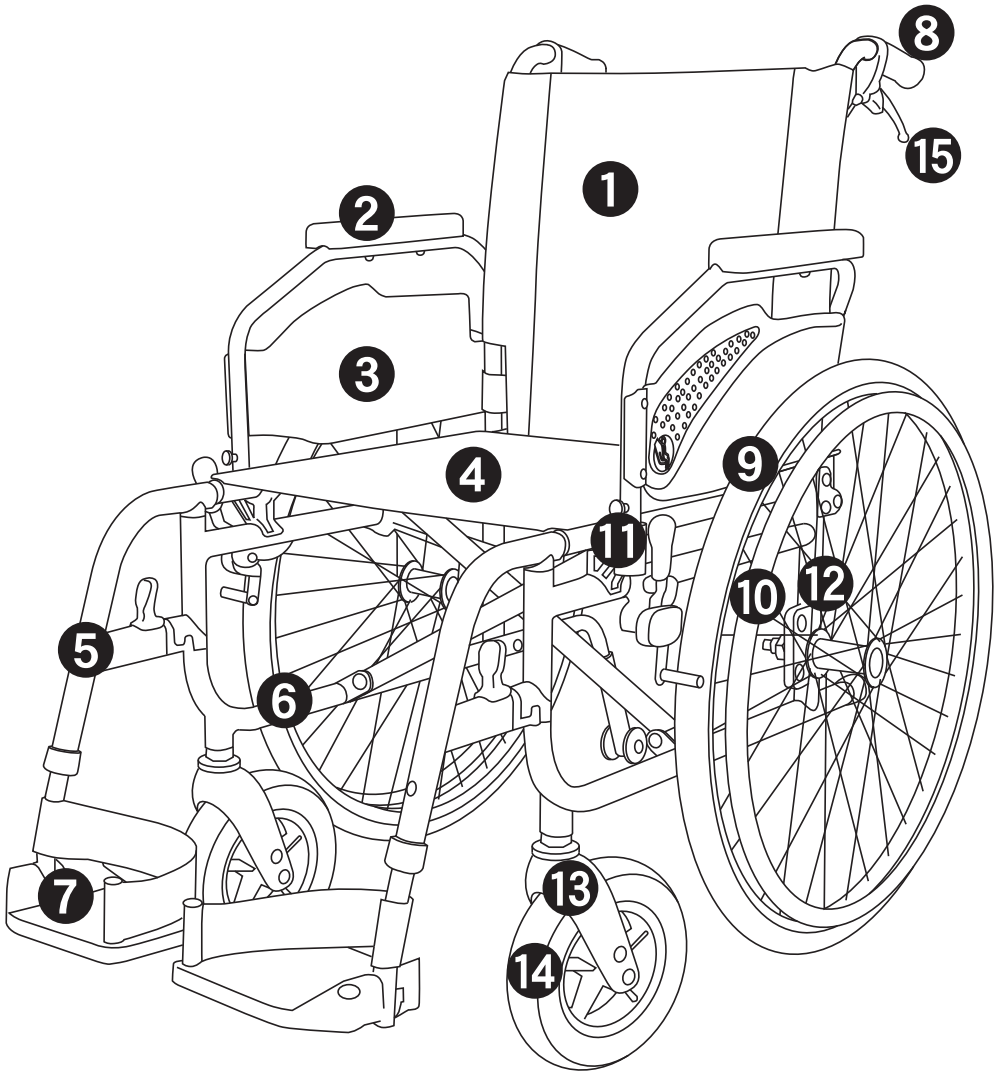
車いすの各部を調整する際は、取扱説明書に記載されている調整方法を十分に理解したうえでおこなってください。また、ご使用者の障害の種類や程度によって、単独での使用が困難な場合もありますので、調整方法をふくめ、理学・作業療法士などの専門家にご相談のうえ安全に使用してください。

handicare

www.handicare.com

各部の名称

この取扱説明書を正しく理解していただくためには、車いすの主要部品のなまえをご理解いただくことが重要です。以下の図をごらんになり、それぞれに対応する部分を実際の車いすでご確認ください。この取扱説明書は、EXIGO（エクシーゴ）10 以外の機種に対応する記載内容もあります。お買い求めいただきました車いすと内容が異なる場合もありますのでご了承ください。



1 背もたれ
2 アームレスト
3 サイドガード
4 座面
5 レッグサポート
6 フレーム
7 フットプレート
8 介助ハンドル
9 後輪
10 ハンドリム
11 手元ブレーキ
12 後輪スポーク
13 キャスタフォーク
14 前輪キャスタ
15 介助ブレーキ

製品仕様

座面寸法	幅	39・42・45・48・51cm の5種類 ＊お買い上げの車いすの座面幅は、座面下部フレームのラベルをご確認ください。（下記「ラベル表記」参照）
	奥行	40cm
	高さ	前部：45cm　　後部：43cm
組み立て寸法	全幅	座幅＋21.5cm
	全長	105.5cm
	全高	84cm
折りたたみ寸法		幅30×奥行78×高さ84cm
背もたれ高さ		40cm
アームレスト高さ		21.5～26.5cm
製品重量		19.5kg
最大使用者体重		140kg

※寸法には ±10mm程度の差があります
※お買い上げの車いすの座面幅は、座面下部フレームのラベルをご確認ください。
※モジュールタイプの車いすのため、一部寸法が変動します。

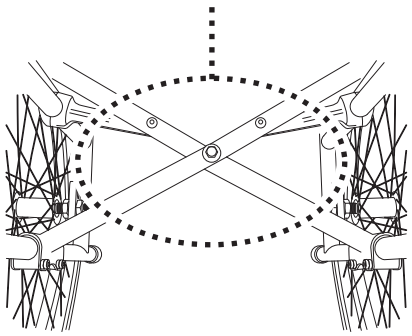
ラベル表記

CEマーク　座面幅　座面奥行　最大使用者体重

製造年月

製品番号

※ラベルの仕様は実際のものとは異なる場合があります。



※座面下部

製品名

eXIGO 10

登坂角度

固定ポイント

廃棄について

車いすおよび車いすの梱包材および部品は、通常の廃棄物として処理することができます。車いすの主要材質は再溶解可能なアルミニウムです。梱包に使用している段ボール、ビニール材も全てリサイクルできます。

各部の点検方法

ご使用前の点検

ネジ類の点検

日常点検として、ボルト、ネジ類のゆるみ、フレームのゆがみおよびガタつきを確認ください。車いすは使用頻度により、ネジ類がゆるんできますので、かならず使用前点検をおこなってください。

車輪の点検

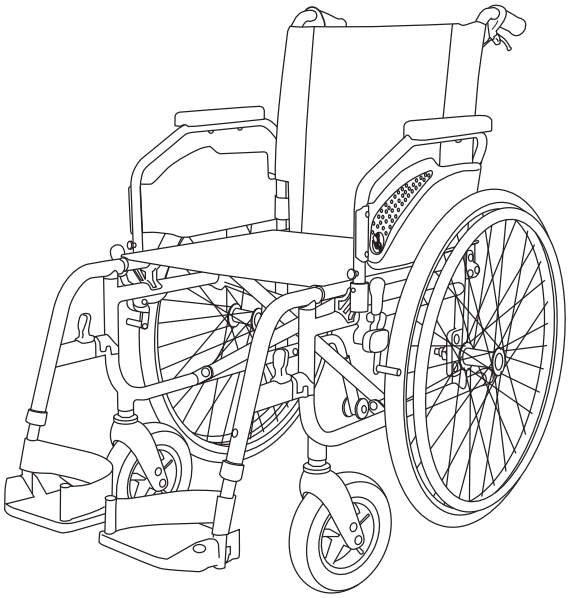
後輪は複数のスポークによって構成されています。後輪を支えるスポークが破損している場合は、かならずご購入販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

ワンタッチ後輪着脱機能（クイックリリース）の点検

日常的に、後輪着脱機能が正しく機能するかを確認してください。車軸中心部に内蔵されているベアリングが破損していないか、装着後に正しく固定されるかを確認してください。

お買い上げから 6 カ月後、および 1 年ごとの点検

・ブレーキが正常に機能することを確認してください。必要に応じて調整してください。
・タイヤに亀裂や穴・傷がないこと、表面の溝が十分残っていることを確認してくだい。
・車いすが清潔な状態であり、すべての可動部が正常に動作することを確認してください。
・キャスタフォークにゆるみ、ゆがみがないことを確認してください。必要に応じて調整してください。
・すべてのネジ・ボルト部を確認して、必要に応じて調整してください。



ご使用上の注意

車いすを安全に使用していただくために重要な内容です。よくお読みになり、内容をかならず守って正しく取り扱ってください。

表示マークの説明	
⚠警告	内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。
⃠	してはいけない「禁止」内容であることを示します。
❗	必ずしていただく「強制」内容であることを示します。

ご使用の際は

⚠警告 内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⃠ **加工・改造は絶対にしないでください。**
故障や事故の原因となるおそれがあり大変危険です。

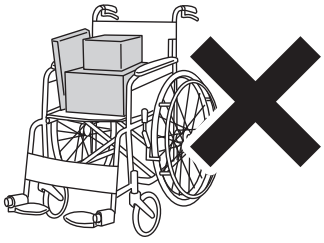
⃠ **分解・修理はサービス員以外行わないでください。**

⃠ **この車いすは１人用です。絶対に２人以上で乗らないでください。**
介助者であっても、一緒に乗らないでください。転倒、破損のおそれがあります。

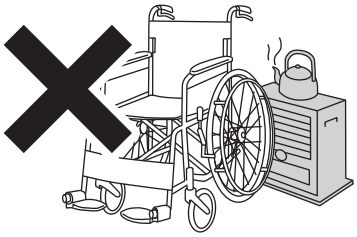
⃠ **介助ハンドルに寄りかからないでください。**
バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

⃠ **座面以外の部分に座ったり、座面に立ち上がったりしないでください。**
転倒、破損のおそれがあります。

⃠ **車いす以外の用途に使用しないでください。**
歩行補助車として使用したり、台車として物品運搬などに使用したりしないでください。



⃠ **車いすを火気に近づけたり、高温になる場所に放置しないでください。**
変形・火災のおそれがあります。



❗ **車いすの各部の調整後に車いすを使用する際は、調整された各部のネジ・ボルトがしっかりと締めつけられているかを確認してください。**
各部の調整を行った場合、車いすの走行性能、バランスに影響を及ぼすこともあります。

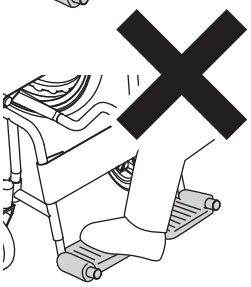
❗ **部品の破損など異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。**

⚠ 警告

内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **車いすの各部が確実に組み立てられていることを確認してください。**
- **介助ブレーキ、駐車ブレーキ、手元ブレーキの効き具合をかならず確認してください。**強すぎる、または弱すぎる場合はすぐにご購入販売店もしくは総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。
- **最大使用者体重（積載物も含む）をかならず守ってください。**

- **車いすに乗り降りするとき、一時停止するときは、**
  ①平らな場所でかならず左右の手元ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
  ②必ずフットプレートをあげてから乗り降りしてください。
  フットプレートの上に立つと、車いすごと転倒するおそれがあり大変危険です。
  ③車いすが不安定になりやすいので、かならず２名以上の介助者が付いてください。



- **立ち座りは、ゆっくりと行ってください。**
  勢いよく立ち上がったり座ったりすると、バランスを崩して転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。

- **介助ハンドルや、手元ブレーキなどの操作レバーに重い荷物を吊り下げないでください。**
  転倒したり、部品が変形・破損するおそれがあります。
- **アームレストに腕を乗せたまま、跳ねあげないでください。**
- **子供に使用させたり、遊ばせたりしないでください。**

- **車いすを放り投げたり、高い場所から落すなどして衝撃を与えないでください。**
- **炎天下の屋外で、長時間車いすを放置しないでください。**
  フレームが高温となりヤケドを負うおそれがあります。
- **ご使用前には、毎回必ず各部を点検してください。**
  異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。
- **手元ブレーキは必ず手で操作してください。また、作動方向以外に力を加えないでください。**部品が変形したり破損するおそれがあります。

⚠ 注意 内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。

車いすを使用中は、安定した姿勢を保ってください。
座面の中央に深く腰掛けてください。

車いすにバリなどがないか確認してください。
衝突などにより、車体にバリやキズが発生することがあります。ケガをすることがありますので注意してください。

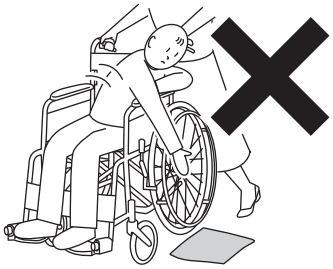
車いすに長時間座っていると床ずれになる危険性が高まります。床ずれになる危険性が高い場合は、除圧分散性の高いクッションを使用してください。

認知症の方が使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。
予測できない行動で危険を招くことがありますので十分注意してください。

走行中は

⚠ 警告 内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

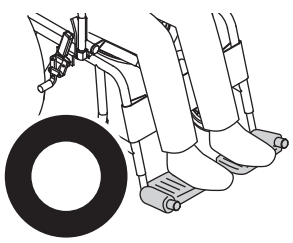
身体が前のめりにならないように注意してください。
段差や凹凸のある路面を走行する際は特に注意してください。



走行中に身体を乗り出さないでください。
また、身体を大きく前傾させないでください。
バランスを崩して車いすが転倒する恐れがあり、大変危険です。

道路を通行する際は、必ず右側を通行してください。歩道があるところでは歩道を通行してください。
必ず道路交通法規を守ってください。道路交通法規を守らず使用すると、交通事故の原因となったり、本製品の保証範囲外となる場合があります。

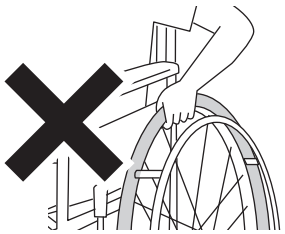
走行中はかならず足をフットプレートの上に乗せてください。
足を地面につけたりフットプレートから外すと、フットプレートと地面の間に足が巻き込まれて、ケガをすることがあり危険です。搭乗者が靴をはいていない場合は、壁などに当たらないよう十分に注意してください。



坂道では、十分に注意して走行してください。
車いすが予想外の方向へ進む、また身体が不安定になるなど、大変危険です。

⚠ 注意 内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。

⃠ **タイヤを持って車輪を操作したり、回転している車輪に指などを入れないでください。**
ケガをする恐れがあり大変危険です。

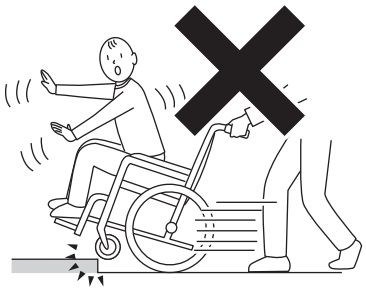


⃠ **片手のみで操作しないでください。**
バランスを崩すことがあり危険です。

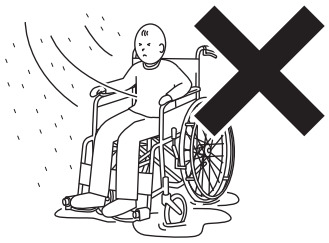
こんな時、こんな場所では

⚠ 警告 内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⃠ **段差を無理に乗り越えようとしないでください。また、絶対に勢いをつけて乗り越えないでください。**

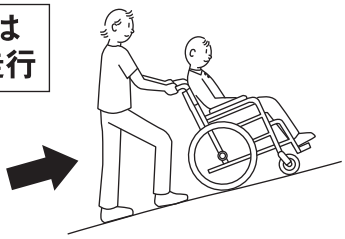


⃠ **以下のような場所、状況では使用しないでください。**
- 崖の近くや河川の堤防、防波堤、フタのない側溝付近など転落の恐れがある所
- 砂利道、ぬかるみなど走行が困難な所
- 雨・雪・凍結などで滑りやすい所
- 夜間、濃霧、強風などで見通しが悪い場合
- その他危険が予想される場合

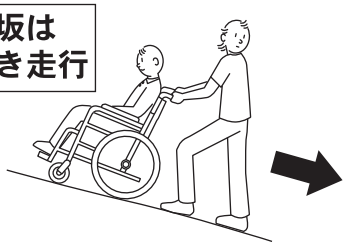


❗ **車いすで急な坂道の上り下りをするときは、かならず介助者が支えてください。**
坂道を上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。下り坂を前向きで下ると、搭乗者が前へずり落ちたり、スピードが出やすいなど、非常に危険です。また、介助者がバランスを失うおそれがあります。

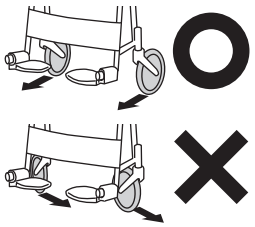
上り坂は前向き走行



下り坂は後ろ向き走行



❗ **発進するときや、段差を乗り越えるときには、前輪キャスタのタイヤがまっすぐになっていることを確認してから走行してください。**
前輪キャスタが斜めになった状態で発進したり、段差に斜めに進入すると、段差を乗り越えられなかったり、前輪キャスタが破損して事故の原因となるおそれがあります。

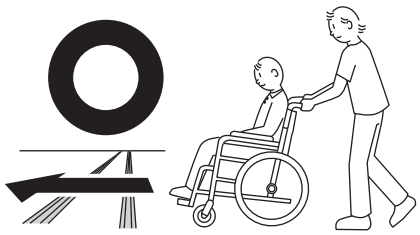


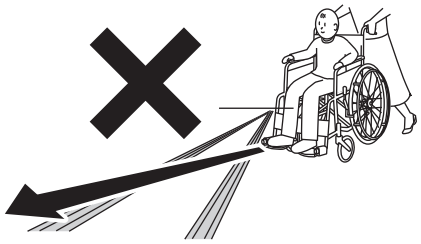
⚠警告

内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

踏切を渡る、溝を越える、エレベータの乗り降りなどの際は車輪が溝に対して直角になるように走行してください。

斜めの角度で進入すると、車輪が溝にはまって大変危険です。またかならず介助者と一緒に走行してください。



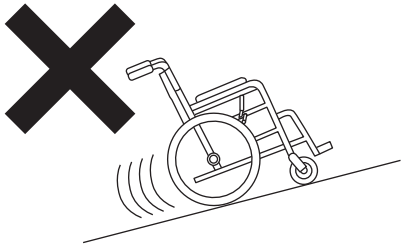


以下のような場所、状況では十分に注意して走行してください。

- 坂道や踏切、溝や段差、地面に凹凸のある所
- 車いす対応の乗り物やエレベータの乗り降り
- 交通量の多い所、混雑している所や狭い道
- その他危険が予想される場合

坂道では駐車しないでください。

ブレーキをかけていても車いすが動く場合があり、大変危険です。



車いすからの移乗の際は、かならず介助者のサポートを受けてください。

自動車で移動する場合、助手席部には車いすを固定しないでください。福祉車両等の後部スペースで、しっかりと車いすを固定してください。

⚠注意

内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。

以下のような場所には放置しないでください。

- 坂道、車道に近い所、人通りのある所
- 段差や凹凸のある路面
- 非常口、消火器、消火栓のそば
- 直射日光のあたる所、火気などで高温になる所、湿気の多い所
- 風雨のあたる所、潮風のあたる所、暑い日や寒い日の屋外
- ほこりの多い所
- 子供がいたずらをする恐れのある所

介助者の方へ

⚠ 警告 内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

車いすの操作方法をよく理解し、取扱いに十分慣れた状態で介助をしてください。

⚠ 注意 内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。

車いすに乗って介助しないでください。

ご使用前には、毎回必ず各部を点検してください。
異常が見つかった場合はすぐに使用を中止し、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。

以下のような場所、状況では必ず介助者が付き添ってください。
- 急な坂道
- 地面に段差や凹凸のある所
- 踏切の横断、車いす対応の乗り物やエレベータの乗り降り、溝のある場所
- その他危険が予想される場合

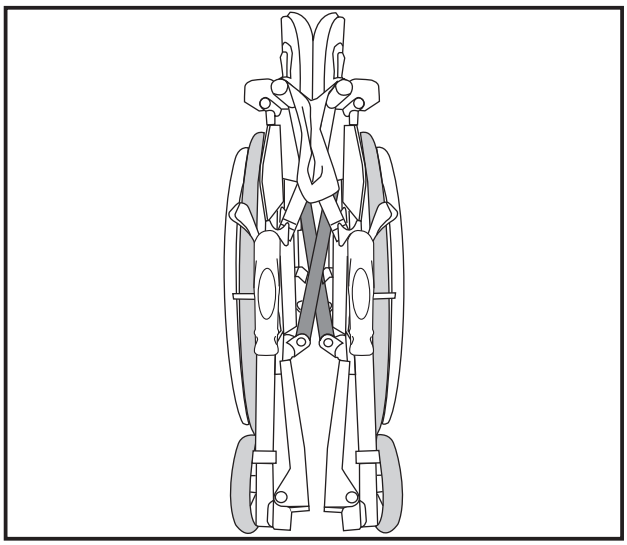
使用中は常に、搭乗者の姿勢や状態に注意を払ってください。
- 身体の一部や衣類が、タイヤ・スポーク・前輪キャスタなどにはさまらないように、また地面・ 建物・通行者などに触れないように注意してください。
- 搭乗者が安定した姿勢を保っていることを確認してください。

組み立て方・折りたたみ方

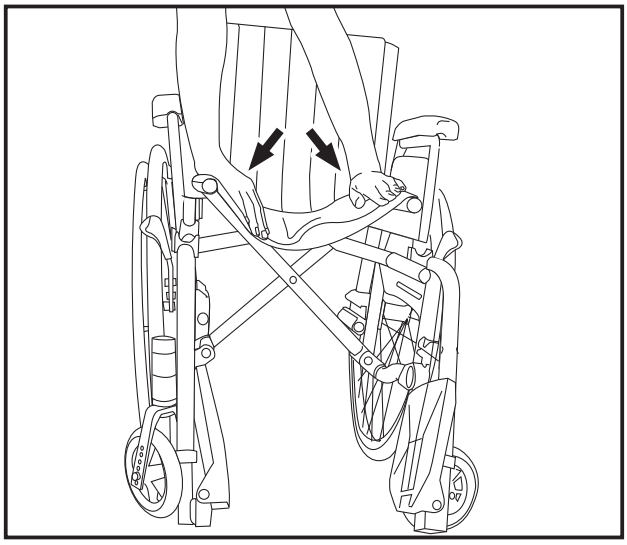
組み立て方

標準の車いすは、完成した状態でお届けします。
開封後の作業は、車いすを広げるだけです。

※仕様によっては、左右のレッグサポート
　を取りつける必要があります。



左右の手の平で、図のように座面両端のパイプを押し広げてください。その後、クッションを座面にのせてください。



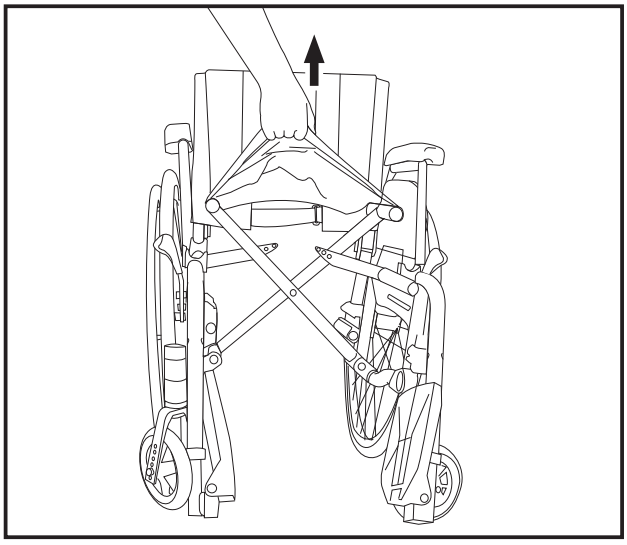
⚠注意

- 座面両端のパイプはかならず手の平で押し広げてください。指で押すとはさんでケガをするおそれがあります。
- パイプがパイプ受けに入っていることを確認してください。

折りたたみ方

ご使用にならないとき、また乗用車のトランクに収納する場合は、車いすを折りたたむことができます。

クッションをはずし、図のように座面の中央部をまっすぐ上へ引きあげてください。レッグサポートを取りはずすと、さらに小さくなります。



後輪の付け方・はずし方

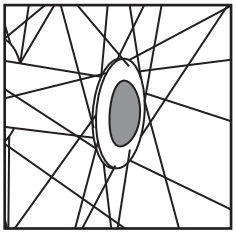
この車いすは、後輪外側の車軸中央部を指などで押しながら手前に引き抜くと、ワンタッチで後輪を取りはずすことができます。取り付けるときも同様にして後輪をさし込んでください。

後輪を取り付けたあとは以下のことをかならず確認してください。

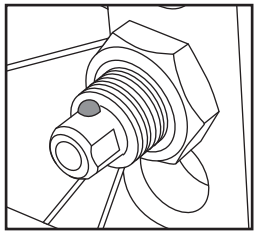
①後輪外側の車軸中央部が約 5mm 程度飛び出していること

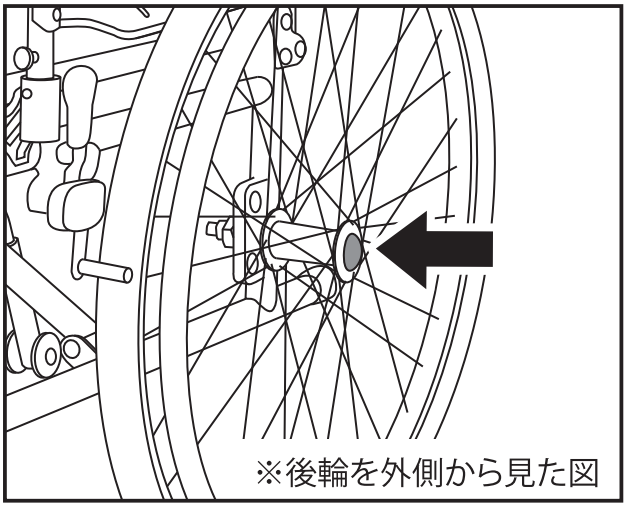
②後輪内側の車軸ベアリングが飛び出していること

①

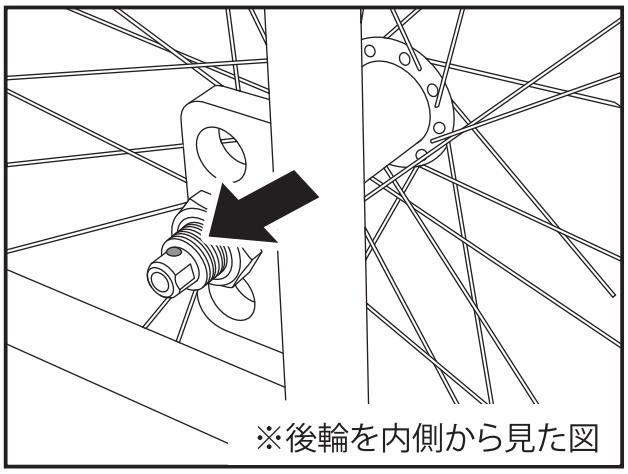


②





※後輪を外側から見た図



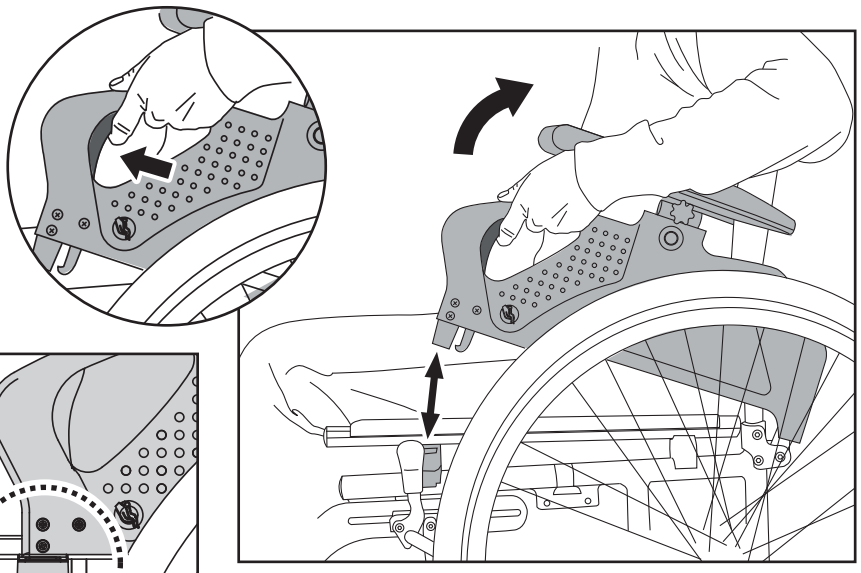
※後輪を内側から見た図

⚠警告

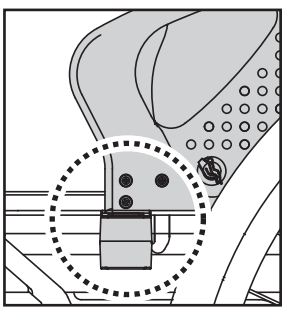
- 後輪が確実に取り付けられていることをかならず確認してください。確実に取り付けられていないと走行時に後輪がはずれて、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

アームレストの跳ねあげ方

アームレスト内側の図の部分を押しながら、アームレストを後方へ回転させるようにしてあげてください。

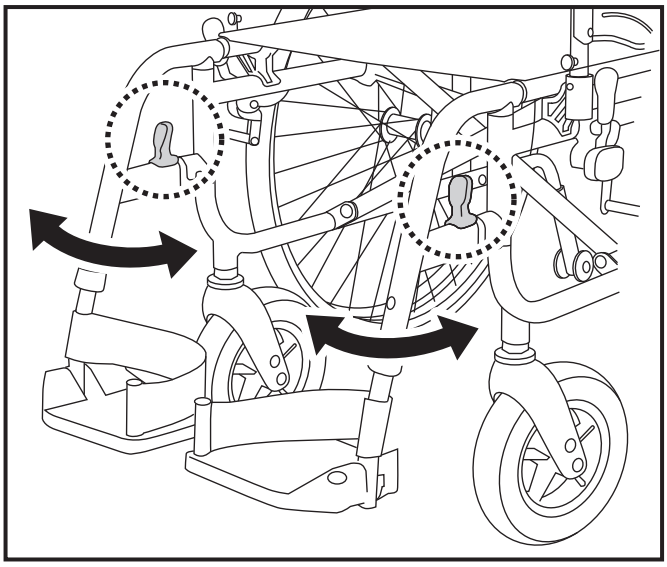


アームレストをおろしたあとは、かならず確実に固定されていることを確認してください。



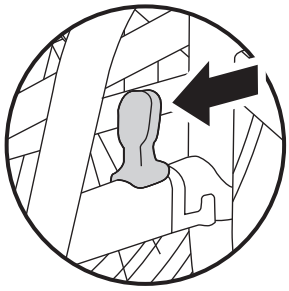
レッグサポートの使用方法

車いすからベッドなどへの移乗時には、レッグサポートを外側または内側へ向けることができます。足元スペースを最大限に確保したい場合は、レッグサポートを取りはずすこともできます。



レッグサポートの動かし方

図のレバーを前方へ押しながら、レッグサポートを外側または内側へ回転させてください。



レッグサポートの取りはずし方

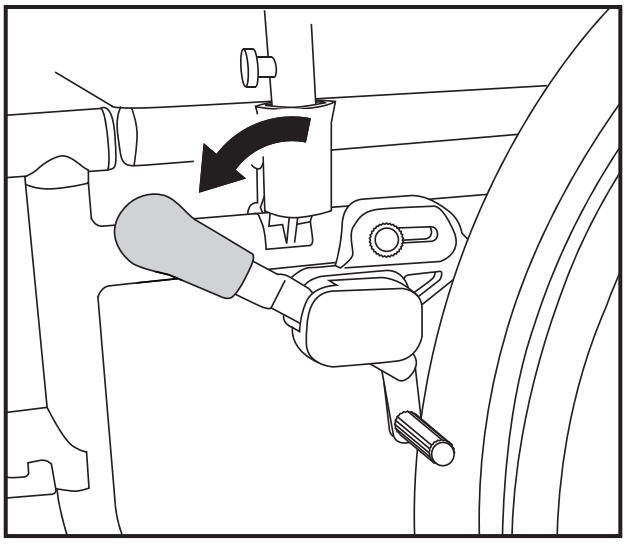
レバーを前方へ押しながらレッグサポートを外側または内側へ回転させ、まっすぐ上へ引きあげてください。

⚠注意

- レッグサポートを元に戻したあとは、上図のようにレッグサポートが正面を向き、確実に固定されていることを確認してください。

手元ブレーキの使用方法

手元ブレーキを矢印の方向へ押すと後輪が固定されます。後方へ引くと解除されます。

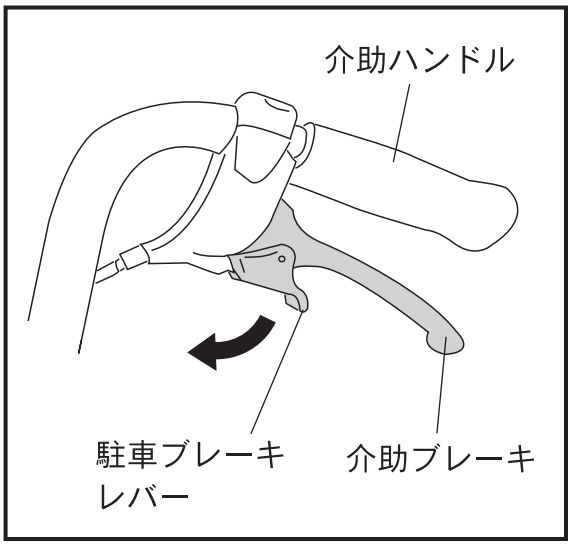


⚠注意

- 車いすに乗り降りするとき、一時停止するときはかならず左右の手元ブレーキをかけてください。
- 走行中に手元ブレーキを操作しないでください。車いすから落ちたり、転倒するなどのおそれがあります。

介助ブレーキの使用方法

介助ハンドルと一緒に介助ブレーキを握るとブレーキがかかります。指をはなすと解除されます。



駐車ブレーキレバーの使用方法

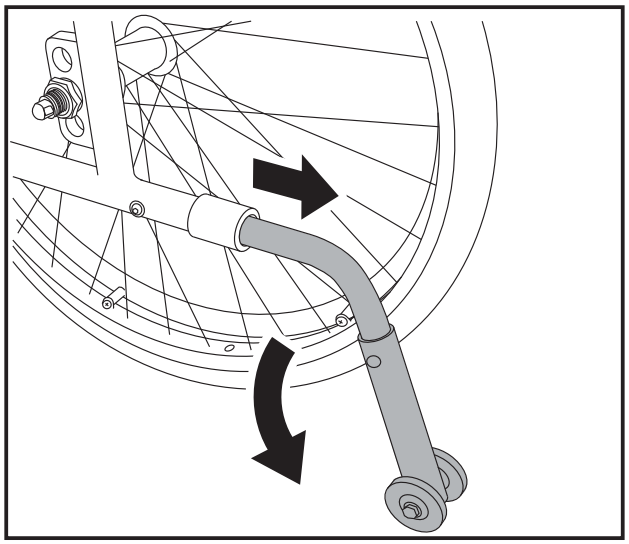
介助ブレーキを握った状態で駐車ブレーキレバーを矢印の方向にさげると、後輪が固定されて駐車ブレーキがかかります。

⚠注意

- ブレーキの効き方が強すぎる、または弱すぎる場合はすぐに使用を中止し、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。
- 介助ブレーキは、介助者が必ず左右同時にかけてください。
- 介助ブレーキワイヤーは、１年に１度交換してください。

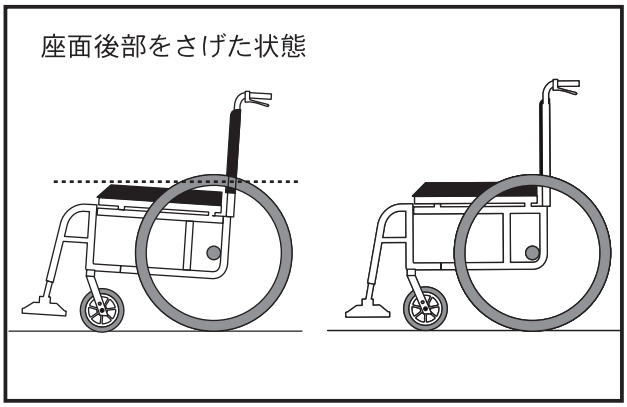
転倒防止器の使用方法 ※オプション部品

転倒防止器を使用するときは、引きながら下へ回転させてください。転倒防止器の先端から床までの距離は 2.5cm 以下に調整してください。
使用しないときは、引きながら上へ回転させてください。



座面後部高さの調節方法

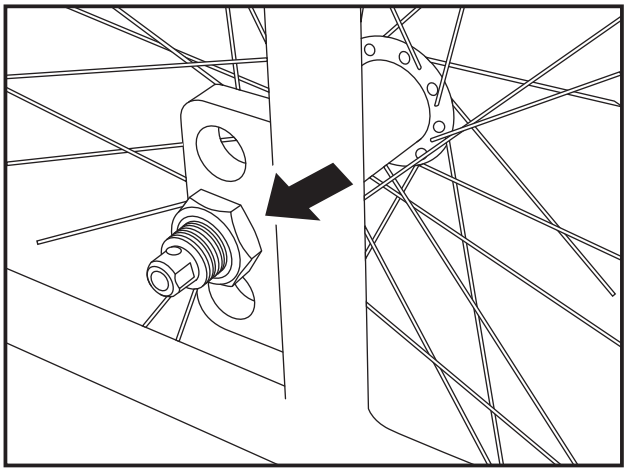
後輪取り付け位置を上下させることで、座面後部の高さを変更することができます。
後輪取り付け位置をあげると座面後部はさがり、
後輪取り付け位置をさげると座面後部はあがります。



1 図のナットをゆるめて取りはずします。

2 座面後部をさげる場合
→後輪取り付け位置をあげる
座面後部をあげる場合
→後輪取り付け位置をさげる

3 図のナットをしめて、後輪軸を確実に固定してください。



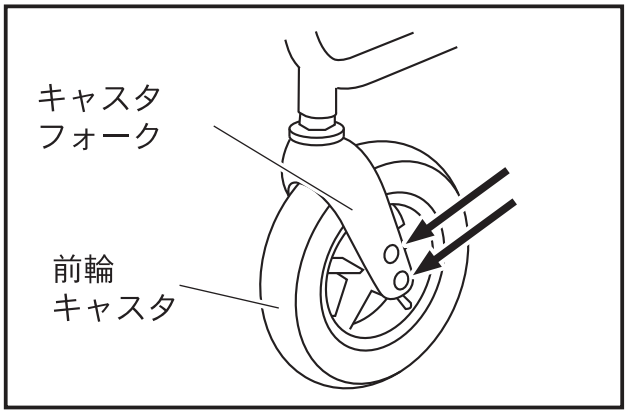
⚠注意
- 後輪の取り付け位置を変更したあとは、かならず後輪軸が確実に固定されていることを確認してください。

前輪キャスタ高さの調節方法

1 矢印のボルトをゆるめて取りはずします。

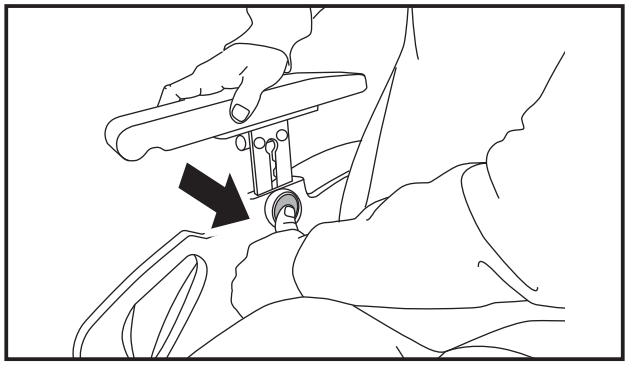
2 座面後部をさげる場合
→前輪キャスタの取り付け位置をさげる
座面後部をあげる場合
→前輪キャスタの取り付け位置をあげる

3 ボルトをしめて、前輪キャスタを確実に固定してください。



アームレスト高さの調節方法

矢印のボタンを押しながら、アームレストを上下させてください。その後、アームレストが確実に固定されていることを確認してください。



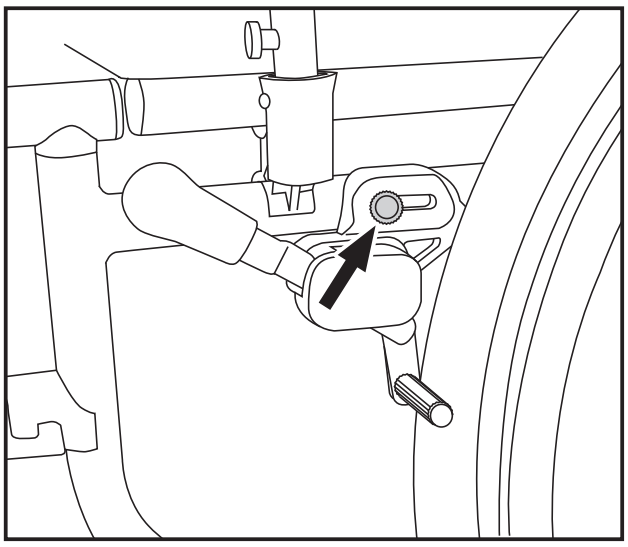
⚠注意
- 指などをはさまないように注意してください。

手元ブレーキ位置の調節方法

1 矢印のネジをゆるめ、手元ブレーキをスライドさせて位置を調節してください。後輪タイヤとブレーキ間の距離が約5mmとなる位置が適正位置です。

2 ネジをしっかりとしめ、手元ブレーキ本体が確実に固定されたことを確認してください。

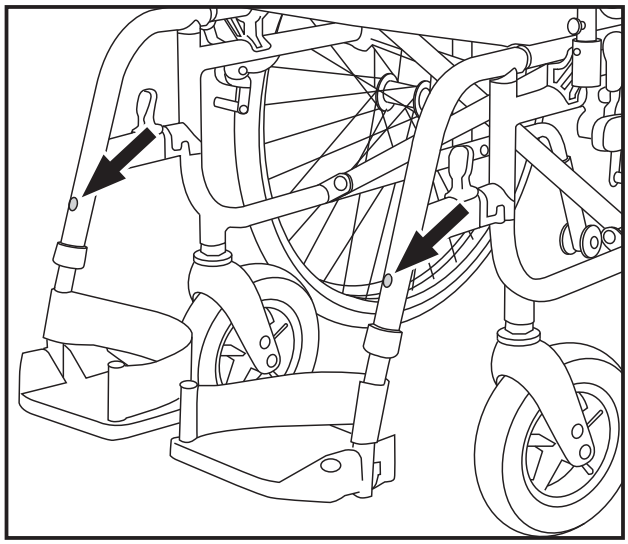
※基本的には、工場出荷時の設定（5mm）をさらに調節する必要はありません。



フットプレート高さの調節方法

1 矢印のネジをゆるめ、フットプレートを上下させて高さを調節してください。

2 ネジをしっかりとしめ、フットプレートが確実に固定されたことを確認してください。

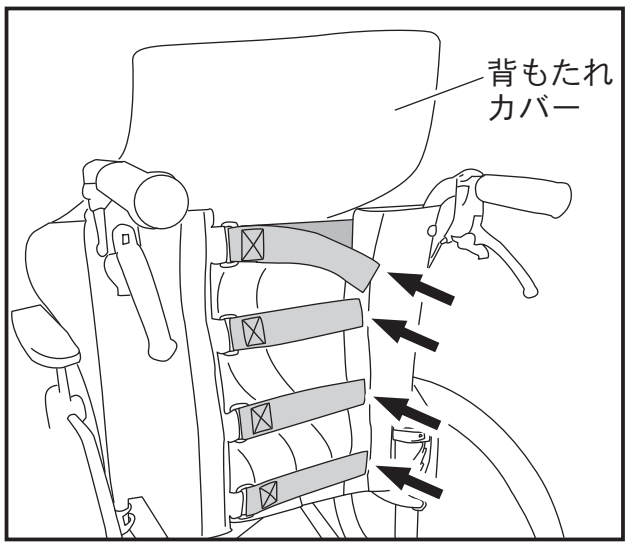


背もたれの調節方法

背もたれ背面のベルトで、背もたれの張り具合を調節することができます。

1 背もたれカバーをはずし、矢印のベルト（4 箇所）の面ファスナーをはずしてベルトの長さを調節してください。

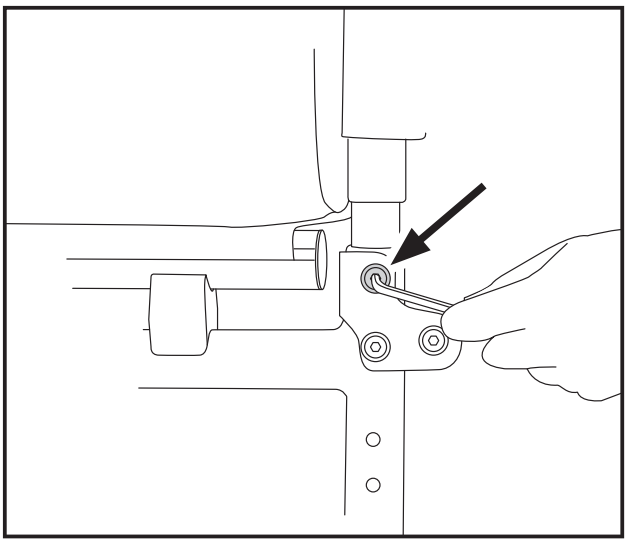
2 全てのベルトが面ファスナーで確実に固定されていることを確認し、背もたれカバーを戻してください。



安全ベルトの取り付け方 ※オプション部品

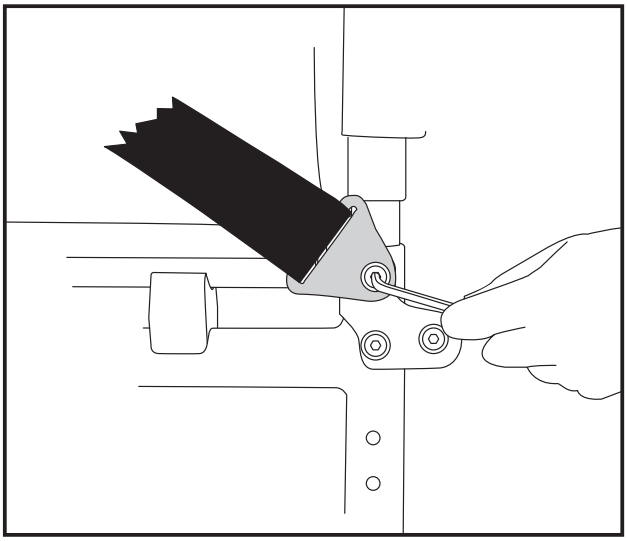
※４㎜の六角レンチをご用意ください。

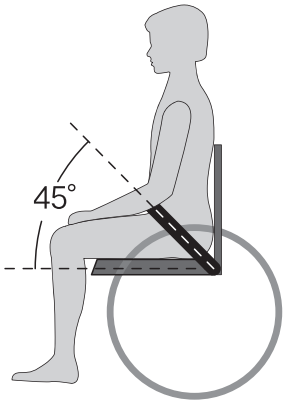
1 ４㎜の六角レンチを使用して、図のネジを取りはずします。



2 安全ベルトを図のように取り付け、六角レンチで固定します。

※安全ベルトをしめたとき、ベルトが搭乗者の腹部に対して約４５度の角度になるように取り付けてください。





ベルトにホツレがないこと、汚れが付着していないこと、また腹部で固定バックルが機能することを確認してください。
着衣の状態等によって、ベルトの長さはその都度調節してください。

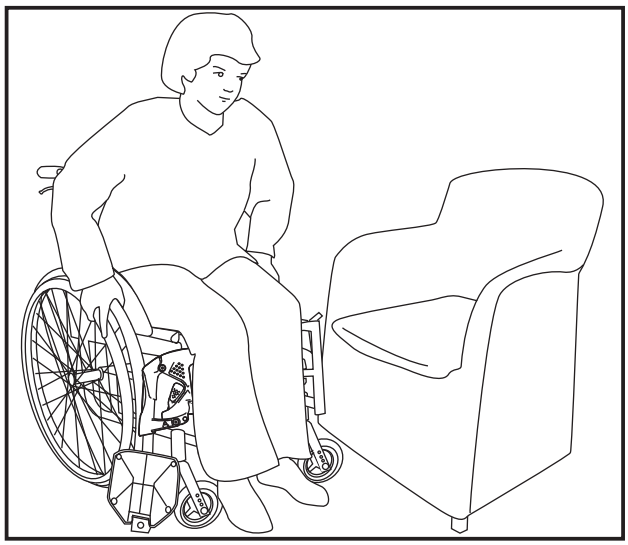
⚠注意

- 搭乗者に床ずれなどの症状がある場合は、ベルトによるこすれ、圧迫などに十分注意をしてください。

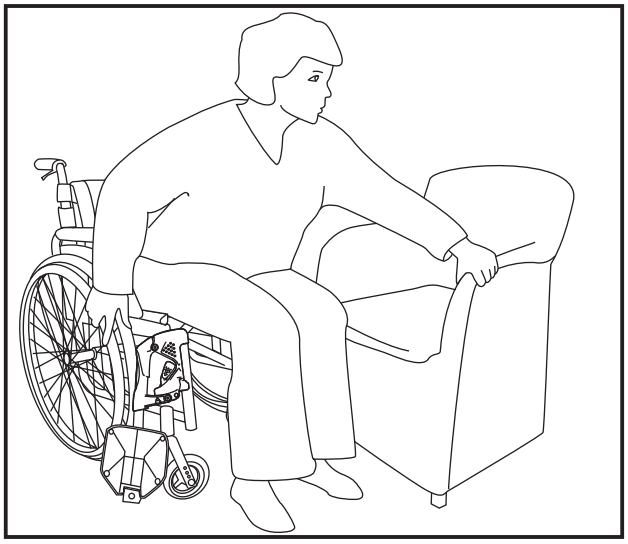
車いすの操作方法

車いすからの移乗

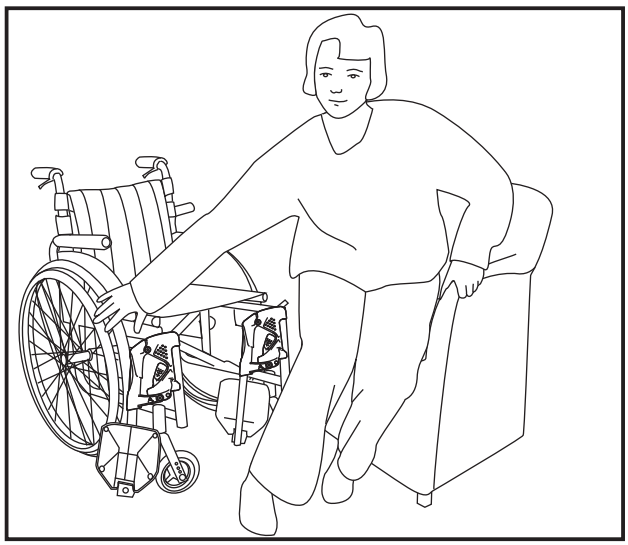
1 かならず左右とも手元ブレーキをかけてください。必要に応じてレッグサポートを外側へ回転させてください。



2 移乗対象物（イスやベッドなど）にできるだけ近づいてください。



3 ゆっくりと慎重に対象物へ移乗してください。



⚠注意

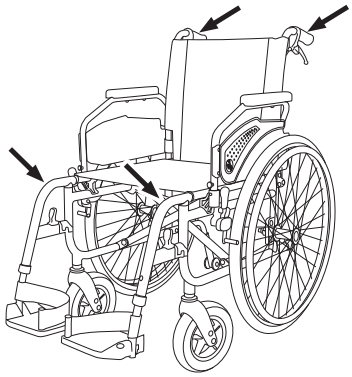
- この車いすを使用して移乗する場合は、移乗知識のある理学・作業療法士などのアドバイスを得てから行ってください。移乗対象物との距離、使用環境、介助者の有無などで、移乗のしかたは変わります。

段差移動

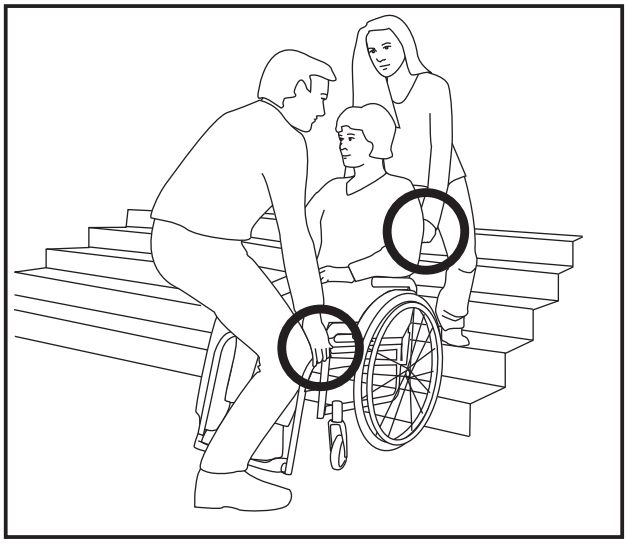
階段等の段差で、搭乗者が車いすに乗ったまま移動する場合は、安全のためかならず下記矢印の箇所を持ってください。

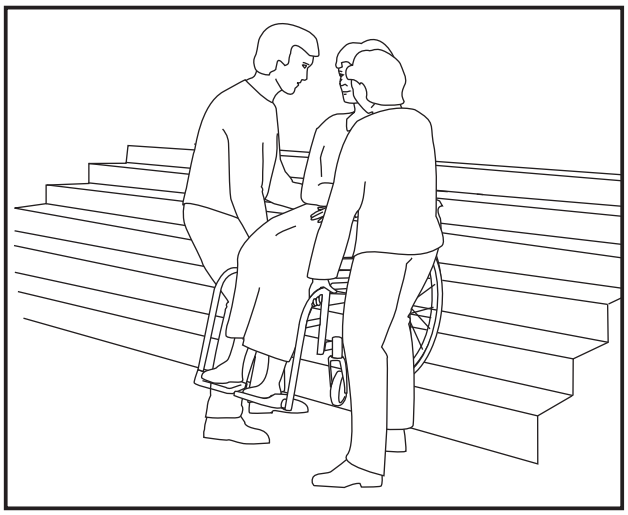
⚠注意

● 矢印以外の箇所は持たないでください。



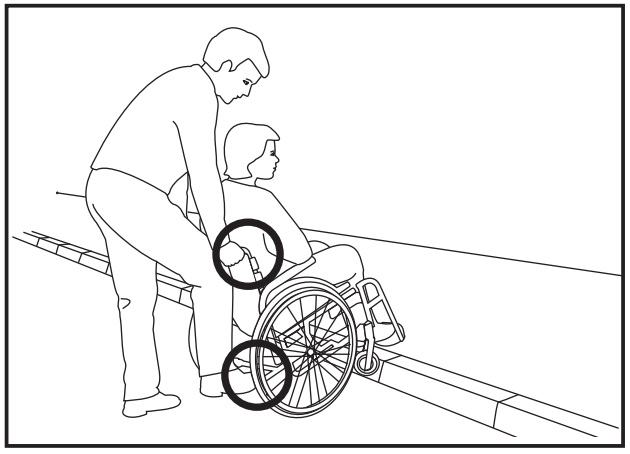
介助者は、図のように車いすをはさんで両側に立ち、矢印の箇所をしっかりと持って移動してください。





段差乗り越え

小さい段差であれば、図のように後輪内側のパイプを踏みこんで支点にしながら、同時に介助ハンドルを手前へ引くようにして前輪キャスタを持ちあげます。



急こう配での走行

普段ご使用になる生活環境に坂や急こう配が多い場合は、介助ブレーキを標準装備することをおすすめします。

※EXIGO（エクシーゴ）10 には介助ブレーキが標準で装備されています。

福祉車両での使用方法

EXIGO10を乗客席として車内で使用する場合

福祉車両で利用者を移送する場合に最も安全なのは、車いすから一般座席に移り、自動車メーカーの安全ベルトでしっかりと固定することです。但し、一般座席には座ることができない場合であっても、当該製品は乗客席として車内で使用することができ、ＩＳＯ7176－19（衝撃吸収）の認証を受けております。車いすを乗客席として使用する際には、かならず車いすを自動車の進行方向に向けて配置してください。車いすを車内で安全に固定するため、以下の固定装置を推奨します。

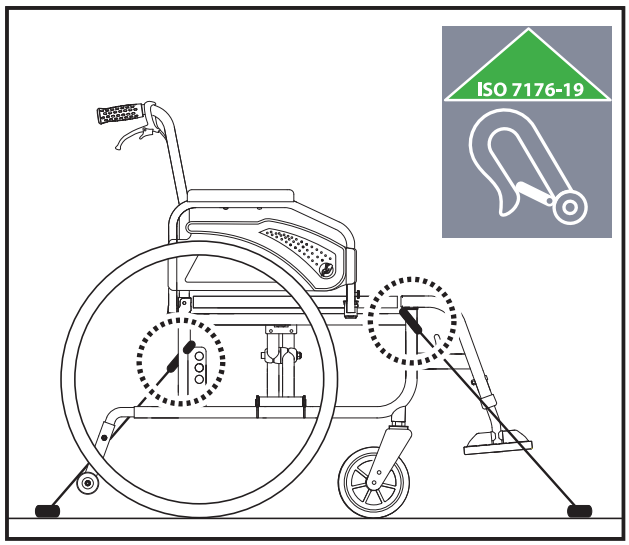
●Unwin WWR/ATF/K/R

本装置は４点固定構造で、車いす本体と利用者がしっかりと車両本体に固定されます。尚、福祉車両によっては福祉車両床部に特殊なレールを設置する必要もあるので、自動車メーカー各社より、安全装置についてのアドバイスを受けてください。

EXIGO10 には、車いすを固定する際にポイントとなる４カ所に目印がついています。

●後輪タイヤ固定部の上
　サイドフレームの後方チューブ部（左右）

●前輪キャスタ固定部の上
　サイドフレームの前方チューブ部（左右）



⚠注意

●Handicare は、EXIGO10 を乗客席として車内で使用する際に、上記とは異なる固定装置が使用された場合の責任は負いかねます。

シートベルトのしめ方

腹部ベルトはできるだけ急角度になるように（３０度から７５度）、肩と胸にかかるようにしめます。

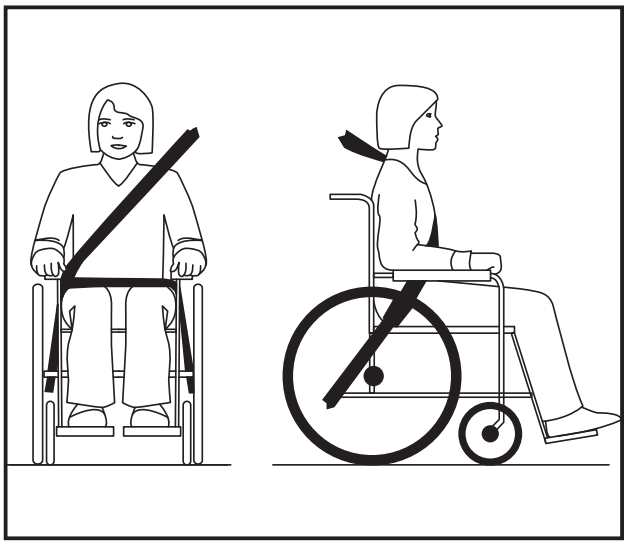
シートベルトが身体に密着し、ねじれがないことを確認してください。

⚠注意

●シートベルトが車いすの部品に接触して、ベルトと身体の間にすきまができないよう注意してください。

●乗客席として車内で使用する際には、車いすが後に傾かないように注意してください。

正しい装着例



● EXIGO（エクシーゴ）10 は車内での使用がみとめられており、前方移動と正面衝突時の利用者に加わる衝撃加速度 20Ｇの ＩＳＯ7176－19 条件を満たしています。
● 車いすを自動車の進行方向に向けて固定し、使用者を腹部ベルトおよび胸部ベルト（３点式シートベルト）で固定した状態で安全テストを実施しています。

車内で安全にお使いいただくための注意

⚠警告 車内で安全にお使い頂くために以下の内容をかならず守ってください。内容を守らず誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがあります。

● 車いすは自動車の進行方向に向けて配置し、固定装置メーカー、あるいは福祉車両メーカーの指示にしたがって固定してください。

● 車内では腹部ベルトと胸部ベルトの両方を使用してください。車の部品等への衝突による頭部や胸部のけがのリスクが軽減します。

● 車いすに付属しているテーブル（オプション部品）は、衝突時の安全を考慮して設計されたものではありません。使用者がけがをするリスクを軽減するために、車内では以下のように対処してください。
・取りはずして車内の別な場所に保管する。（その他の付属品も、できるかぎり車いす本体から取りはずし、輸送中は車内で保管してください。）
・テーブルと使用者との間にパッド（衝撃を吸収できるような材質のもの）等をはさむ。

● サポート装置や位置調整装置は、ISO7176-19-2008 の要件にしたがって公認ラベルが付されていないかぎり、安全装置、あるいはシートベルトとして使用することはできません。

● 何らかの衝突事故後に車いすの使用を再開する場合は、速やかにご購入販売店または弊社カスタマーサポートへ連絡のうえ、安全点検を受けてください。

お手入れ・保管方法

下記以外のお手入れについてのご相談は、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへ連絡してください。

フレームの洗浄

- フレームは定期的に中性洗剤で洗浄してください。必要に応じて、高圧ジェットスプレーを使用して洗浄してください。（ボールベアリングに直接スプレーすることは避けてください。）
- 洗浄後、または雨天の使用後は、乾いた布などを使用して車いすをしっかりと拭いてください。
- 清拭をする場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って清拭後、乾いた布などで拭き取ってください。
- 塩素系洗剤、ワックス類、揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリン、スプレー式防虫剤）は使用しないでください。変色や材質を変質させるおそれがあります。

消毒

消毒をする際は、専門の消毒業者に委託してください。その場合、塩素系、フェノール系は使用しないでください。70 ～ 80%のエタノール系を専門業者に情報としてお伝えください。

座面クッションカバー、背もたれカバーの洗浄

６０度までの温水であれば、一般家庭用の洗濯機を利用して洗濯できます。

使用環境と保管について

車いすは、氷点下３５度から摂氏６０度の生活環境下で使用することができます。
保管の際は、屋内または雨や雪を防ぐことができる屋根のある場所で大切に保管してください。

修理サービスについて

通常使用によるフレーム塗装はがれ、タイヤ交換、ブレーキの調整を除き、その他の専門的な修理については、ご購入販売店または総販売元カスタマーサポートへご相談ください。

保　　証　　書

お客様の正常なご使用により万一不具合が発生した場合に、本書記載内容に従って無償修理いたします。必ず本保証書を製品と一緒にご提示ください。

1. この製品の保証期間はお買い上げ頂きました日から１年間です。
2. ご贈答・ご転居などでお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は総販売元カスタマーサポートにお問い合わせください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内において、部品や付属品の不具合が発見された場合は無償修理させていただきます。
5. 日常的に使用した商品のお取替えはご遠慮ください。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
7. 製品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年といたします。
8. 本保証書は明示した期間や条件において、 無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は総販売元カスタマーサポートにお問い合わせください。

保証期間内でも下記の記載内容に該当する場合は無償修理対象外となり有償修理とさせていただきます。

1. 保証書を紛失された場合、またはご提示が無い場合。
2. 本保証書の必要事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障、または損傷が発生した場合。
4. お客様の誤った方法によるご使用やお手入れによる場合。
5. 火災・地震・塩害・ガス害・風水害・落下・その他の天災地変により故障または損傷が発生した場合。
6. 無償修理以外の修理に要する運賃などの諸経費。

お客様へ

- この保証書をお受け取りになる時に、ご購入年月日、ご購入販売店名・ 住所が記載されていることをかならずご確認ください。
- 修理期間につきましては、商品弊社到着後７日間を目安としておりますが、修理箇所、修理内容によりましてはさらに日数を要する場合がありますので、あらかじめご了承願います。

ご購入年月日	ご購入販売店名・住所（〒　　）
年　　月　　日	

総販売元

福祉用具総合メーカー

株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町３丁159番地1

【カスタマーサポート】10時～17時（土・日・祝日を除く）

フリーコール 0120-508-058

フリーコール　コーワ　オーコーワ

http://www.kowa-ws.co.jp

製造元

Manufactured by:

handicare

Handicare

www.handicare.com